

講演①「日本アマチュア無線連盟の現状と最新の取組み」

日本アマチュア無線連盟 会長 JG1KTC 高尾 義則

日本アマチュア無線連盟の現状(会員数の動向や財政状況など)をご説明させていただきますと共に、最新の取組みやJG1KTCが会長に就任しましてからの新たな取組みを紹介させていただきます。

創立百周年に向けての方向性や取組み、将来を預かる責任ある執行部としての取組みを、わかりやすくご説明させていただきます。

講演②「レンタカー移動運用セットの構築」 J02ASQ 清水 祐樹

遠距離の移動や、離島での移動運用に便利な「レンタカー移動運用セット」について紹介いたします。特長は次の通りです。

1. 車にキズを付けることなく、1.9~1200MHz+衛星通信 のアンテナが設置可能
アースを必要とするアンテナの場合、車の屋根にアルミ板を密着させてアースとして使用します。オートアンテナチューナーも使用可能です。
2. 空中線電力 50W で、連続運用が可能
無線機専用のバッテリーを設置して、アイドリングしながら充電します。この方法により、車のバッテリー上がりを防止できます。
自分の車に無線設備を取り付けたいけれども、車にキズを付けたくない、という方にも参考になる内容です。
下記 QR コードから、資料にアクセスできます。



講演③「JARdの受講者に対する資格取得から開局から運用までの取組み」

JARd 管理部長 伊藤 純

JARdでは、eラーニングでは2アマ及び3アマの養成課程を、全国各地で開催している集合講習会では、3アマ及び4アマの養成課程を国の認定を受けて実施しています。また、JARd独自の取組みとして、JARd講習会受講後の開局から運用までをサポートするため、JARd受講者交流サイト「HAMt t e (ハムって)」を運営しています。2023年1月30日現在の登録者は約15,400名(うち講習会講師等のサポーターは約240名)であり、日々登録者は増加しています。

この「HAM t t e」では、サポーターやベテランOMさんに何でも相談ができる「お助け隊」、初のQSOをサポートする「交信相手探し」、「エリア別掲示板」などの各種掲示板や、ご自身が情報発信を行う「ミニブログ」、ユーザー同士で無線機器をお譲りするなどのコーナーがあり、日々交流が行われています。その他、関係団体、無線機メーカーや無線機器販売店からの各種情報発信のコーナーもあります。

また、この「HAM t t e」では、入門者に交信に慣れてもらうため、年3回定期的に「HAM t t e 交信パーティー」を開催するとともに、この期間に合わせ「初心者交信教室」を実施しています。

まず、「HAM t t e 交信パーティー」は、20局QSOを目標にしてもらい、達成者には賞状を贈呈するほか、抽選にてコールサインプレートが当たる賞も設けています。

次に「初心者交信教室」は、交信が未経験の方や交信に慣れていない方を対象とし、直近では2023年1月9日、14日、21日の3日間、東京巣鴨のJARdハム教室で開催し、3日間で29名が参加しました。参加者は10代から60代まで幅広く、なかには2アマの方も含まれています。約半日の教室で、一人で交信できるまでになり大変好評を得ています。JARdでは資格取得のみならず、このようなアマチュア無線家を育成する幅広い取り組みをJARL各県支部等関係者ととも、今後も継続して参りたいと思っています。

講演④ 「九州から始まる29MHz FMと国際交流」 JARL 東京都支部長 澤田倉吉

29MHzFMバンドの紹介、九州各局との交流、九州での全国大会、日韓親善トラジネット国際交流等について、パワーポイントを活用して紹介します。

東京方面の関東地域から電波伝搬の相性が良い九州方面は、春になると29MHzFMでの交信が可能となる。

約40年前、地元のローカル局と夜29MHzFMで交信していると「ブレイク JA6・・・」と59で入感。145MHzFMのように強く入感、3局でラウンドQSOをしました。数日間、同局と交信が続いた思い出があります。深夜になるとフェージングが始まり聞こえなくなっていました。ドラマチックな交信でした。

この頃からフィリピンマニラにDX1SAというコールサインの29MHzFMレピータが稼働しており、日本全土をカバーする広域レピータ局でした。当時そのレピータのサポートは九州の局が中心となり、日本全国のサポーターをとりまとめて維持されていました。

隣国韓国とのアマチュア無線家の交流は、約40年前から7MHzからの交信とアイボールで始まり、相互理解のためのアイボールによる日韓アマチュア無線家国際会議の開催を進め、善隣親善交流で、約40年以上も続いています。

九州の方々が進められた国際交流は、これからも、さらに日本全国に広がることでしょう。今年、関東エリアでのこの日韓国際会議の開催を企画しております。

ぜひ、東京をはじめ関東にもお越しください。皆様とお会いできることを楽しみにしております。もちろん電波でお空でもお会いしましょう。